

約束のものを得ずして

2025年5月18日

ヘブル人への手紙 11章36～40節

序：ヘブル書11章は旧約（イエス・キリスト以前）の昔の賞賛されるべき信仰者列伝
10・19～39において勧められている信仰の生涯の例

- (1) 11・1～7 族長以前（アベル、エノク、ノア）
- (2) 11・8～22 族長時代（アブラハム&サラ、イサク、ヤコブ、
ヨセフ
信仰者の希望＝天の故郷、神の都
- (3) 11・23～31 出エジプト、カナン征服（モーセ＝キリストの予表
キリストの苦難にあずからせる上で最高の模範、
遊女ラハブ）
- (4) 11・32～40 カナン征服以後の信仰者（ギデオン、バラク、
サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル、預言者達
士師～初期王国時代～中間時代
- 12・1～13・17 イエス・キリストへの信仰により、御国の相続者
とされている者たちへの信仰生活上の勧告と奨励

本日の箇所は(4)の後半、11章全体のまとめ

I. 迫害・試練・殉教を通った信仰者

- (1) 預言者エレミヤ
打たれ、かせに繋がれた エレ 20・2
嘲られた エレ 20・7～
牢に入れられた エレ 37・15
穴に投げ込まれ、泥に沈む エレ 38・6
- (2) ほかの人たち
マカベア時代の聖徒たち
10・33～34 この手紙の読者の中の、同様の経験をした者たち
- (3) エホヤダの子ゼカリヤ
聖霊によって示され、ヨアシュ王と民の偶像礼拝を責めた
主の宮の庭で、王が命じて石打ち 歴代Ⅱ 24・21
イエスが言及 ルカ 11・51
- (4) 預言者イザヤ
のこぎりで引かれた By マナセ王 逃亡、ユダの山地で捕らえられ
嘲笑の中、木の鋸で真っ二つ
- (5) エリヤと同時代の多くの預言者 / エリヤは信仰によって剣の刃を逃れた
剣で殺された 信仰によって
列王Ⅰ 19・10
エレミヤの仲間の預言者ウリヤ / エレミヤはエホヤキムから
エジプトに逃亡、エルナタンのため 逃れた
捕らえられた
エホヤキム王は彼を剣で殺し、死体を
共同墓地に遺棄
- (6) 迫害を受け、山地や荒野に逃れ、身を隠していた人々
牛や山羊の皮を着てさまよう（荒野、山、洞窟、地の穴）
困窮、圧迫、虐待

(7)アンティオコス・エピファネス王の迫害下の敬虔なユダヤ人
祭司マッタティアと家族
ダニ 11・33 の預言の成就 ⇒ マカベア書 1 2・27～28

この世は彼らにふさわしい所ではなかった

II. これらの人々（11章に列挙された信仰者たち）

(1)その信仰によって賞賛された = 神に対して真実

(2)神が証人として、証ししてくださる

(3)約束されたものは得なかった = 約束の成就を目撃する光栄に浴さなかった

↓
もっとすぐれたもの

↓
救い主イエス・キリスト

III. これらの人々と私たち

キリスト以前の信仰者
旧約・中間時代

キリスト来臨後の信仰者
新約・教会の時代

(1)これらの人々を信仰の模範として、神は私たちに備えてくださった

(2)さらにすぐれたものを、私たちのため備えてくださっていた

(3)神の摂理によって、キリストによる成就の祝福にあずかる私たちの時代まで
全うされる時を保留しておられた

(4)キリストが来られ、完全ないけにえがささげられ、永遠の贖いが完成した
贖いの御業を成し遂げて天に昇られ、天の聖所、父の右に着座された

(5)今こそ、昔の聖徒たちとともに、私たちが神の御前にはばかることなく大胆に
近づくことができるようにされた

(6)さらにすぐれたもの＝イエス・キリストを持つ私たちが信仰において昔の
信仰者たちに劣ってはいない、劣ってはならない

IV. 結び

(1)聖書の中で、その信仰が証しされ、賞賛される人々が私たちの模範として数多く、
様々な時代に立てられた

(2)この世界で敬虔に生きようとすれば、妥協なく生活するならば、必ず迫害が
伴うことは周知の事実である。信仰のゆえに逃れる場合と信仰のゆえにそれを受け
る場合がある。いづれも、信仰によってである

(3)旧約は律法の時代、新約は恵みの時代である。キリストの恵みによる救いを
受けるためには、律法によって、自分が神と神の法に対する違反者であり、
無力な罪人であることを認める必要があった。また、イエス・キリストに対す
る信仰が不可欠である。神はその成就をキリスト来臨の時まで貯え置かれた。

(4)新約の聖徒たちは携挙の後に新しい体が与えられる。旧約の聖徒たちと患難
時代に死んだ聖徒たちは、キリストの地上再臨の後、体が復活する。千年王国
には、聖徒たちは新しい体をいただいた状態で入る

(5)今、私たちは信仰の人として、この地上で御国を目指して歩む者である。
その時、いつも覚えなければならないことは、信仰の創始者であり完成者であ
るメシア、イエス・キリストである（来週の箇所 12章にあるとおり）